

令和5年度 第2回学校運営協議会抄録

日時:令和5年11月17日(金)18:00～ 場所:本校 会議室

出席者:阿部(市内自治会長)、大岩(株式会社トウワソウイング)、白髭(玉野備南高校長)、角田(後援会会長)、藤原(市商工観光課)、藤原(適応指導教室副室長)、東(玉野 SDGs みらいづくりセンター)、入口(市教委指導主事)、三澤(日比中学校長)【事務局】:教頭、事務長、教務課長、生徒課長、進路課長、普通科長

1. 開会 校長挨拶

本協議会は、発足当時から本校の今後の在り方について、3年間7回に及ぶ熟議を行ってまいりました。前回までに①4年卒を基本とした教育課程の変更、②特別支援教育の視点に立った指導の充実、③積極的な情報発信に努めることの3つの提言を示してくださいました。この熟議の過程を教育弘済会の論文としてまとめたところ、「優秀賞」を受賞することができました。これも本校を愛する皆様のお蔭です。ありがとうございました。



今後はこの提言を実行していくためのロードマップを御審議いただきますようお願いいたします。

2. 学校説明 学校経営の具体的計画の中間評価について(抜粋)

【学校経営目標】 授業を通じて生涯にわたり学ぼうとする態度や自立に向けた基礎学力を育てる。

始業前に教室整備を毎日行っている。タブレットを活用した授業は、国語、英語、理科、美術などで、日常的に行われている。学び直しは基礎学力に応じて3クラスに分かれ個に応じた指導を展開している。授業はブログで紹介。総合的な探究の時間「SHOP」は、注目され全国紙『定通教育』に取り上げられた。

【学校経営目標】 社会で必要なマナーやルールを守り、自分を大切に、他人を思いやる心を涵養する。

新年度スタート直後、学校生活に慣れていない生徒が多かったことから、緊急に全校集会を開いて出席の大切さを呼びかけた。生徒の部活動に寄り添い、「備南ボランティア」もスタートさせている。

【学校経営目標】 体験を通じてより良く生きようとする態度を育て、地域と連携したキャリア教育の推進を図る。

就労支援の校内研修を実施したり、吉備リハの見学や就労支援の公開講座に教員が参加したりして専門的な知識を得ようとしている。内定者と企業との連絡会を実施したことによるのか離職者はいない。

【学校経営目標】 生徒一人ひとりの実態を把握し、通級をはじめ特別支援教育や教育相談を推進する。

おかやま発達障害者支援センターと連携した授業を実施したり、岡山県精神科医療センターの実習内容を参考にボルトセットを作る学習を行ったりしている。生徒が落ち着ける「さぎなみルーム」を整備した。

【学校経営目標】 通う生徒にとって学びやすく魅力的な玉野備南高校を考える。

事務方の強力な助力を得て、ウォーター・クーラーの設置や高山ドームの整地、体育館照明のLED化、一眼レフの購入、更衣室の洗浄とエアコン設置など、生徒や教員、市民にとって快適な環境整備が進む。SST(人間関係作り)を取り入れた4修制の教育課程の変更は、市内教育関係者からも理解された。

・意見聴取(一部を抜粋)

【委員 A】生徒に対して粘り強く指導しており、送り出した生徒の備南での活躍を嬉しく思っている。

【委員 B】ブログがよく発信されているので、学校の様子がよくわかる。欠席は例年、6月に増えるのか。

←【事務局】例年ではない。新年度の疲れが出たのが今年は6月だった。その都度フォローする。

【委員 C】去年は早期離職が多かった。粘り強い就労支援に感心している。通級指導を受けている生徒の支援はどのようになっているのか。

←【事務局】就労移行支援会議を開いて個別に対応している。また企業担当者にも入社前に学校での様子を見てもらい、本人の特性や学習環境を理解していただくようにしている。

【委員 D】就労が気になる。仕事が続かなかった生徒へのフォローアップはどうなのか。自己肯定感を持たせるような人権教育をどのように行っているのか。

←【事務局】離職生徒が判れば、ハローワークと一緒にいくこともしている。人権教育は単独で行うものではなく、教育活動全体で行っている。きめ細かな授業も人権教育の一つだ。

3. 協議

(1) 3・4修制について、時間割案と SST の内容を示す資料で説明

4修制の時間割は、午後4時間の授業となる。午前中は SST(人間関係作り)の講座を月曜日から木曜日まで日替わりの選択講座とし、金曜日にはカウンセリングの時間を入れる。SST を受講しても良いし、仕事を入れても良い。自己選択をさせて社会と関わろうとする時間を増やす設定を考えている。

・意見聴取(一部を抜粋)

【委員 B】SST は全授業に取り入れたら良い。生徒の困り感に寄り添うのが授業作りの基本だから。

【委員 C】コミュニケーション力は仕事で重要。その力があれば就労が持続可能となるので変更賛成。

【委員 D】4修制に変更するねらいには賛成。ただ3年での卒業はできないのか。

←【事務局】3年での卒業は、検定資格を取得したり、就労体験を増加単位として認めたり、定通併修制を利用したりすることで可能ではある。

【委員 E】時間をかけてゆっくり学ぶことや講座と仕事を選択することは、将来の就労に必要なことだ。

【委員 F】4修制でじっくり学ぶことには大賛成。3年間での卒業にこだわるのであれば、他校を選択することも考えて良いのではないかと。定時制の良さは仕事をするなど社会とつながるところにある。

(2) 令和5年度の卒業式の来賓について

コロナ禍の3年間で式の進行が簡略化されたことは、本校の生徒にとっては良いことだった。学校行事が以前の状態に戻る傾向にあるが、来賓は玉野市関係からは1名程度としたい。市教委の祝辞もこの3年間のとおり、メッセージだけで良いと考えているか。いかがか。

【委員 F】来賓の招待客は学校側に一任すれば良い。

4. 事務連絡

今後の予定について、学校運営協議会の第3回は2月中、臥竜祭文化の部は12月14日に、卒業式は3月1日に開催予定。新しくなった「さざなみルーム」(右横の写真)を全員で見学した。



(生徒の気持ちを落ち着かせる仕様)

5. 閉会 会長挨拶

体育祭はとても楽しそうでした。備南に来て生徒が良い思い出ができるように皆さんで支えましょう！